



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 タカノ株式会社

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,476	0.1	441	200.8	413	121.4	279	170.4
28年3月期第2四半期	9,464	10.7	146	1,433.2	186	85.0	103	92.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 269百万円 (1,274.2%) 28年3月期第2四半期 19百万円 (△84.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.40	—
28年3月期第2四半期	6.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	33,794	26,953	79.8	1,773.72
28年3月期	35,862	26,836	74.8	1,765.98

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 26,953百万円 28年3月期 26,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	0.00	0.00	0.00	10.00	10.00	10.00
29年3月期	0.00	0.00				
29年3月期(予想)			0.00	10.00	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,400	4.8	1,100	12.3	1,220	20.6	810	24.8	53.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	15,721,000 株	28年3月期	15,721,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	524,811 株	28年3月期	524,773 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	15,196,226 株	28年3月期2Q	15,196,237 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の継続的な金融政策等を背景に、企業収益や雇用・所得環境等の改善により緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、中国を中心とする海外経済の下振れリスク等から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは新たに策定を行った中期経営計画「Innovation 68」の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、計画で定める各施策の前倒し実行と一層の具体化に努めてまいりました。

具体的には、新規コア技術開発、新営業分野に関する製品開発、グローバル販売体制の拡充に注力する一方、引き続き、製造ラインへのロボットの導入等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。

その結果、住生活関連機器及び機械・工具の販売が増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,476百万円で、前年同四半期比12百万円（0.1%）とわずかながら増収となりました。

利益面につきましては、合理化等積極的なコストダウン活動の推進による粗利益額の改善等により、営業利益441百万円（前年同四半期比294百万円、200.8%の増益）、経常利益413百万円（前年同四半期比226百万円、121.4%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益279百万円（前年同四半期比176百万円、170.4%の増益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	3,737	3,798	1.6%	△46	△16	－%
検査計測機器	3,537	3,314	△6.3%	74	253	238.2%
産業機器	1,055	1,030	△2.3%	86	150	74.6%
エクステリア	460	426	△7.4%	△22	△10	－%
機械・工具	673	905	34.5%	59	49	△17.4%
報告セグメント計	9,464	9,476	0.1%	152	426	180.4%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△5	14	－%
合計	9,464	9,476	0.1%	146	441	200.8%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、第1四半期に引き続き、ロボット等の新設備による製造の合理化に向けた活動を進めるとともに、生産性向上に向けた工場レイアウトの変更等に取り組んでまいりました。また、医療関連分野向けの製品の営業体制の拡充を図ってまいりました。

この結果、オフィス家具需要が底堅く推移したこと等により、売上高は3,798百万円で前第2四半期連結累計期間比60百万円、1.6%の増収となりました。また、利益面では、市場競争の激化にともなう販売単価の低下の影響はあったものの、積極的なコストダウンに努めた結果、セグメント損失は16百万円（前年同四半期はセグメント損失46百万円）と損失幅を縮小することができました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き、中国市場向け液晶検査装置および高性能フィルム向け検査装置ならびに自動車業界等向け検査装置の販売活動に注力してまいりました。また、半導体関連・電子デバイス関連向け等の新製品の開発を進めてまいりました。

しかしながら、一部製品の売上計上時期ずれ等の影響により、売上高は3,314百万円で前年同四半期比222百万円、6.3%の減収となりました。利益面についてはコストダウン活動を積極的に推し進めたこと、収益性の高い製品分野の販売が拡大したこと等により、セグメント利益は253百万円で前第2四半期連結累計期間比178百万円、238.2%の大幅な増益となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、生産性向上を目的とした生産ライン現場の徹底した改善活動、海外市場への積極的な営業活動および医療関連分野向け電磁アクチュエータの販売拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、ユニット製品の販売の減少等により、売上高は1,030百万円で前第2四半期連結累計期間比24百万円、2.3%の減収となりました。一方、利益面では生産ラインの合理化等の効果により、セグメント利益は150百万円で、前第2四半期連結累計期間比64百万円、74.6%の増益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向けた広告宣伝活動や新製品の開発に注力するとともに、物件受注体制の拡充に取り組んでまいりました。

しかしながら、売上高は426百万円で前第2四半期連結累計期間比34百万円、7.4%の減収となりました。一方、利益面では、積極的な経費削減活動により、セグメント損失は10百万円（前年同四半期はセグメント損失22百万円）と、損失幅を縮小することができました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、機械・工具の新規顧客開拓に向け、販売促進活動に注力してまいりました。その結果、機械にかかる大口物件の販売があったことにより売上高は905百万円で、前第2四半期連結累計期間比232百万円、34.5%の増収となりました。一方、利益面では、収益性の高い商品分野の販売が伸び悩んだこと等の影響により、セグメント利益は49百万円で、前第2四半期連結累計期間比10百万円、17.4%の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は33,794百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,067百万円減少いたしました。純資産合計は26,953百万円となり、前連結会計年度末と比較して117百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は79.8%と前連結会計年度末と比較し、5.0ポイント増加いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対して、現金及び預金が1,214百万円増加した一方、期末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだこととともない受取手形及び売掛金が2,384百万円減少したこと等により、流動資産合計が2,199百万円減少し、21,786百万円となりました。固定資産合計は、工場の改修とともない建物及び構築物が102百万円、子会社の新社屋建設とともない建設仮勘定が315百万円それぞれ増加した一方、投資その他の資産のその他に含まれる長期性預金350百万円が解約等とともない減少したこと等により、131百万円増加し、12,008百万円となりました。

負債の部については、前連結会計年度末に対して、主に支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が1,628百万円減少したこと等により、負債合計は2,184百万円減少し、6,841百万円となりました。

純資産の部については、主に当第2四半期連結累計期間における親株主に帰属する四半期純利益の計上等により、利益剰余金が127百万円増加し、純資産合計は前連結会計年度比117百万円増加の26,953百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績につきましては、現時点で、平成28年5月9日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,396,876	9,611,084
受取手形及び売掛金	8,582,311	6,197,823
有価証券	625,956	250,000
商品及び製品	588,135	533,063
仕掛品	4,210,252	3,990,352
原材料及び貯蔵品	889,188	744,373
その他	696,922	460,147
貸倒引当金	△3,781	△303
流動資産合計	23,985,861	21,786,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,183,882	2,286,043
機械装置及び運搬具(純額)	552,251	565,564
土地	4,284,948	4,319,777
その他(純額)	542,718	948,067
有形固定資産合計	7,563,800	8,119,453
無形固定資産	313,109	305,997
投資その他の資産		
投資有価証券	3,185,818	3,129,364
その他	819,476	459,305
貸倒引当金	△5,831	△5,831
投資その他の資産合計	3,999,464	3,582,838
固定資産合計	11,876,375	12,008,289
資産合計	35,862,237	33,794,831

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,895,861	1,306,826
電子記録債務	2,160,582	1,121,432
未払法人税等	249,574	90,335
前受金	1,806,268	1,795,227
賞与引当金	392,819	292,385
役員賞与引当金	15,250	-
その他	1,515,432	1,177,616
流動負債合計	8,035,789	5,783,823
固定負債		
長期借入金	67,483	37,481
役員退職慰労引当金	189,720	9,240
退職給付に係る負債	561,998	568,095
その他	171,057	442,439
固定負債合計	990,258	1,057,255
負債合計	9,026,047	6,841,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	22,508,925	22,636,505
自己株式	△272,451	△272,477
株主資本合計	26,607,792	26,735,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258,100	290,085
為替換算調整勘定	64,780	12,891
退職給付に係る調整累計額	△94,484	△84,570
その他の包括利益累計額合計	228,396	218,406
純資産合計	26,836,189	26,953,752
負債純資産合計	35,862,237	33,794,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,464,392	9,476,746
売上原価	7,808,067	7,435,794
売上総利益	1,656,324	2,040,951
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	368,451	361,299
賞与引当金繰入額	65,974	71,138
退職給付費用	30,926	29,158
貸倒引当金繰入額	△34	△3,478
役員退職慰労引当金繰入額	7,320	720
その他	1,037,004	1,140,930
販売費及び一般管理費合計	1,509,643	1,599,768
営業利益	146,681	441,183
営業外収益		
受取利息	22,121	13,456
受取配当金	15,748	16,346
その他	11,977	30,203
営業外収益合計	49,847	60,006
営業外費用		
支払利息	1,121	1,222
為替差損	7,867	81,840
固定資産除売却損	275	2,310
その他	458	2,145
営業外費用合計	9,723	87,519
経常利益	186,805	413,670
税金等調整前四半期純利益	186,805	413,670
法人税、住民税及び事業税	51,705	81,899
法人税等調整額	31,700	52,228
法人税等合計	83,406	134,128
四半期純利益	103,399	279,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,399	279,542

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	103,399	279,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97,986	31,984
為替換算調整勘定	11,090	△51,889
退職給付に係る調整額	3,111	9,913
その他の包括利益合計	△83,784	△9,990
四半期包括利益	19,615	269,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,615	269,551
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	186,805	413,670
減価償却費	274,100	326,392
貸倒引当金の増減額（△は減少）	65	△3,478
賞与引当金の増減額（△は減少）	△55,246	△100,188
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△11,300	△15,250
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△27,283	6,904
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	7,320	△180,480
受取利息及び受取配当金	△37,870	△29,803
支払利息	1,121	1,222
売上債権の増減額（△は増加）	1,152,837	2,356,218
たな卸資産の増減額（△は増加）	△553,304	417,193
仕入債務の増減額（△は減少）	△214,887	△1,612,435
前受金の増減額（△は減少）	△1,051,233	△7,966
その他	△216,895	340,607
小計	△545,769	1,912,607
利息及び配当金の受取額	37,505	31,444
利息の支払額	△1,201	△1,400
法人税等の支払額	△40,113	△244,719
法人税等の還付額	620	2,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	△548,958	1,700,545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△514,000	△102,000
定期預金の払戻による収入	194,000	618,000
有価証券の売却及び償還による収入	—	775,956
有形固定資産の取得による支出	△507,618	△956,777
有形固定資産の売却による収入	2,447	475
投資有価証券の取得による支出	△200,394	△400,721
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	100,000
その他	△30,818	75,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,056,384	110,353
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△60,002	△50,002
自己株式の取得による支出	△29	△26
リース債務の返済による支出	△23,200	△34,144
配当金の支払額	△121,570	△151,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,802	△236,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,980	△94,554
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,806,164	1,480,208
現金及び現金同等物の期首残高	9,468,419	7,957,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,662,254	9,438,084

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	3,737,922	3,537,032	1,055,015	460,908	673,512	9,464,392
セグメント間の内部売上高又 は振替高	15,288	5,111	14,388	6,350	304,582	345,720
計	3,753,211	3,542,143	1,069,403	467,258	978,095	9,810,112
セグメント利益又は損失(△)	△46,373	74,918	86,204	△22,524	59,846	152,071

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	152,071
セグメント間取引消去	△5,390
四半期連結損益計算書の営業利益	146,681

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	3,798,362	3,314,805	1,030,934	426,826	905,817	9,476,746
セグメント間の内部売上高又 は振替高	20,390	7,421	6,527	4,733	170,890	209,963
計	3,818,753	3,322,227	1,037,461	431,559	1,076,708	9,686,710
セグメント利益又は損失(△)	△16,521	253,391	150,532	△10,442	49,419	426,379

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	426,379
セグメント間取引消去	14,803
四半期連結損益計算書の営業利益	441,183

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。